



「第二の永久歯」「第三の歯」と呼ばれるインプラント治療とは？

失ってから後悔するもの、健康な歯もそのひとつです。その回復にあたり、入れ歯やブリッジといった治療が開発されましたが、すべての患者さまに満足を与えられたわけではありません。そのようななか、近年、インプラント治療が注目されています。どこが優れているのか、現場の専門医を代表し、わかば歯科クリニックの萩原聡先生にお話を伺いました。



「これから、この歯を大事にします」
治療を受けた患者さんのひとことで、
インプラントのすばらしさを確信しました

入れ歯とブリッジの

短所を払拭した治療

——インプラント治療とは、簡単に
言うところなんでしょうか？

萩原先生（以下、敬称略） 天然の歯とほとんど変わらない感覚で、機能と外観を回復できる治療です。「第二の永久歯」「第三の歯」とも言われています。具体的には、顎の骨にインプラントという支柱を埋め込み、そこに義歯をかぶせる治療です。これは、さまざまな面で優れた治療法であると思います。従来、失った歯を補うためには、入れ歯やブリッジによる治療が行われていました。しかし、入れ歯は口の中に違和感が生じる場合があり、噛む力も弱まるというデメリットがありました。またブリッジは、補う歯の支えを作るために、両隣の健康な歯を削らなくてはなりません。このような入れ歯とブリッジの欠点を解消する治療方法として、開発されたものがインプラント治療なのです。今日では、非常に多くの長期的なデータの裏付けがあります。実際に私が使用している

デンツプライニッケのインプラントも、審美的回復に優れていることに加え、長期的に安定した治療成績を上げています。このため、安全面でも優れた治療法といえるでしょう。

——具体的にどんな症状の方に有効ですか？

萩原 一本の歯を失った方からすべての歯を失った方まで対応できます。また、従来の治療で悩まれている方にもお勧めです。たとえば、すでに入れ歯を入れている方で、違和感があったり、噛む力が弱いという方はもちろん、取り外して手入れをするのが面倒、食べ物がかまって口の中が不衛生になりやすい、入れ歯の臭いが気になる……といった方も、インプラント治療で改善されます。すでにブリッジを入れている方でも、ブリッジ下部の歯肉とのすき間の部分に食べ物カスがつまったり、臭いが気になるという方や、空気がもれて発音が困難という方は、有効な治療法ではないでしょうか。

——実際に従来の治療からインプラントに変えられた方は、どのような感想をお持ちでしょうか？

萩原 入れ歯治療の患者さんに、入れ歯で初めて食事をしたときに大きな違和感があり、ショックを受けた方がいらっしました。その方は、「この状態が一生続くと思うと、大げさに言えば絶望感さえあった」と

実際はどんな感じ？ インプラント治療のSTEP

STEP1 (カウンセリング)

問診表をもとに、検査とカウンセリング。どのような状況で歯を失ってしまったのか？ また今後どのような治療を希望されているのかをヒアリングします。インプラントについての詳しい内容も説明します。

STEP2 (診断と治療計画についてのご説明)

歯科用CTを用いてインプラントを植立する部位に骨の量があるか、骨の質は適切かを検査します。そのほか、噛み合わせや周囲の歯の状態なども、必要に応じて調べます。その後、模型(歯型)を取り、咬合器という装置に装着し、最終的に理想的な被せ物やインプラントの位置や本数などを決定。今後の治療方針を歯科医師が説明します。

STEP3 (インプラント埋入)

手術前に麻酔専門医による問診の後、安全に静脈内鎮静麻酔を行い、麻酔専門医管理の下、治療を開始。(インプラントの本数が1~2本程度の場合や、麻酔専門医による麻酔を希望しない場合はこの限りではありません)。人工歯根(インプラントフィクスチャー)を顎の骨の中に埋め込みます。手術方法は、一回法と二回法がありますが一般的には二回法が主流になります。通常2~3本を埋めるのに掛かる時間は麻酔が効いてから30分~40分程度です。

STEP4 (治療期間)

顎の中に埋められたインプラントフィクスチャーが、周囲の骨と結合するまで安静な期間を置きます。骨の状況や部位によって異なりますが、約2ヶ月から6ヶ月です。

STEP5 (上部構造の設置)

治療期間を終了したのちに、骨の中に埋まっているフィクスチャーと被せ物を作るための土台(アバットメント)を、歯肉を少々切開して取り付けます。その後2~3週間ほど歯肉の回復を待ってから型を取ります。

STEP6 (上部構造のセット)

上部構造(被せ物)が出来上がったら、噛み合わせをチェックして装着します。

STEP7 (メンテナンス)

3ヶ月~6ヶ月に一度のペースでメンテナンスを行います。これは将来に渡り、インプラントを良い状態で保ち続けるための大切な事です。



骨に支柱を埋め込むとなると、治療

手術中は麻酔で負担を軽減。
麻酔医が担当する医院もあり

おっしゃられていましたね。しかし、インプラントで以前のように噛めるようになって、「あの絶望感を受けた衝撃よりも大きい喜びを感じている。もっと早くやればよかった」と大変感激されて。そして、その時、「これから、この歯を大事にします」とおっしゃったんです。この一言を聞いて、インプラント治療は素晴らしいと確信しました。

時に苦痛がないか心配です……。
萩原 インプラント治療は、患者さまの負担を軽くする措置があるので大丈夫です。当院では麻酔専門医による静脈内鎮静法を行っております。これにより、インプラント手術に対する不安や痛み、術中に口をあけたままの状態であることなどの精神的・身体的ストレスを無くすることが出来ます。また、インプラント手術中は麻酔専門医が血圧や血中酸素飽和度を管理し、常に細心の注意を払っているため安心して治療が行えます。手術中は患者さまの意識はありますが、少しボーッとした状態です。ただ、ご自分での意思表示やこちら側の呼

びかけに対して答えることが可能です。時間の経過の感覚はあまり無く、1~2時間の手術が、20~30分程度で終わったように感じられます。
—— 先生がインプラント治療を行うときに、気をつけている点はなんでしょうか。
萩原 患者さまが納得し安心して治療を受けられるための十分な説明です。そして、インプラント治療を受けて本当によかったと思っていただけるように、医師としてのモラルと日々の研鑽に力を注ぐ事です。なかでも長きにわたり治療を成功させるために、咬合については特に注意しております。逆に、患者側が気をつけたほう

がよいことなごもありますか？
萩原 お口のクリーニングと禁煙です。プラーク(細菌の塊)がたくさん付着している状態ですと、手術の感染リスクが高まります。また喫煙についてアメリカの有名な論文では、喫煙者のインプラント失敗率は非喫煙者の2~3倍まで、リスクが高くなる」と報告されています。
—— 気になるお値段の相場はどれくらいでしょうか？
萩原 インプラント治療は自由診療ですので、医院によって治療費はさまざまです。正確かつ安全に手術が行われ、インプラントが長きにわたり使い続ける事ができるかどうかということが一番重要ではないかと思います。費用はもちろん重要ですが、よく医師と相談し安心してできる環境で治療を行うことをおすすめいたします。
—— これからインプラント治療を検討している読者に、ひとことメッセージをください。
萩原 おいしく食事ができるということはとても大事な事だと思います。自分の歯と同じように噛めて、快適な日常生活をおくれる、インプラント治療を検討してみたいかがでしょうか？

事前に治療費を含め
歯科医師によく相談を

CLINIC INFORMATION

わかば歯科クリニック

〒273-0035
千葉県船橋市本中山2-18-3カタンクローバービル2F

TEL 047-302-6480

診療時間：10時~21時(平日)、10時~16時(土日)

休診日：祝祭日、年末年始

<http://www.seisakai.com/>



忙しい方にうれしい！平日は午後9時まで診療

虫歯の治療からホワイトニングまで幅広く対応。痛くない治療や子どもの歯の治療などを得意とする一方で、忙しい方のために平日は夜9時まで診療するなど問口の広さで人気を集める。